

2010年4月1日～2018年3月31日の間に 当科において頭頸部がんの治療を受けられた方 およびそのご家族の方へ

—「岡山大学病院における頭頸部がん治療の年度別治療成績および予後予測因子の検討」

へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究機関長 金澤 右

研究責任者	岡山大学病院	耳鼻咽喉科	教授	西崎 和則
研究分担者	岡山大学病院	形成外科	教授	木股 敬裕
	岡山大学病院	形成外科	特任助教	松本 洋
	岡山大学病院	耳鼻咽喉科	准教授	假谷 伸
	岡山大学病院	耳鼻咽喉科	助教	丸中 秀格
	岡山大学病院	耳鼻咽喉科	助教	野田 洋平
	岡山大学病院	耳鼻咽喉科	助教	牧野 琢丸
	岡山大学病院	耳鼻咽喉科	医員	津村 宗近
	岡山大学病院	口腔外科（再建系）	講師	水川 展吉

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

岡山大学病院に医科、歯科、看護師、その他のメディカル部門などを含めた診療科の枠を超えたチーム医療を一貫して行うことができる頭頸部がんセンターが国立大学病院で初めて2012年4月に開設され、すでに6年間の経過しました。この研究では、岡山大学病院耳鼻咽喉科および頭頸部がんセンターで治療を施行した症例の年度別の治療成績を検討することで、頭頸部がんセンターのがん治療における役割を評価することを目的とします。併せて、頭頸部がん治療後の生存率や無再発生存率に関係することが予測される要因を治療内容、検査所見、全身状態から検討します。また、この間に分子標的治療薬、免疫療法薬の頭頸部がん領域への保険適応など頭頸部がん治療が大きな変革を遂げてきています。これらの薬は高額な薬剤のため、効果のある例についての検討を行います。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この研究によって、頭頸部がん治療がより効率的に適切に行われることが期待されます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2010年4月1日～2018年3月31日の間に岡山大学病院において入院治療を受けられた頭頸部がんの患者様約1500名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2020年3月31日

3) 研究方法

2010年4月1日～2018年3月31日の間に当院において頭頸部がんの入院治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに治療および検査のデータを選び、予後に関する分析を行い、効果的な医療について検討します。

4) 使用する試料

使用しません。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

1) 患者基本情報：年齢、性別、喫煙歴、アルコール飲酒歴、家族の有無、合併症、既往歴、診断名、ステージ分類、PS、初診日、診断確定日、受診日、入院日、退院日、最終受診日、転帰

2) 検査（実施日）：血液検査、生化学検査、癌およびバイオマーカー、画像検査（単純レントゲン、CT、MRI、PET-CT、超音波）、病理所見

3) 治療：手術療法の有無（手術法、実施日）、放射線治療（種類、照射量）、化学治療（種類、回数）

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2018年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 耳鼻咽喉科

氏名：西崎 和則

電話：086-235-7302（平日：8時30分～17時15分）

ファックス：086-235-7308